

◎ 図書館の在り方検討プロジェクトチーム これまでの経過について

1 プロジェクトチーム立ち上げまでの経過

- 平成 26 年 4 月 17 日 これからの図書館の在り方検討会を発足（図書館）
～ ・基本コンセプトを検討し、それを基に報告書を作成
平成 27 年 3 月 18 日 計 18 回（うち 3 回は分科会）
平成 27 年 4 月 24 日 教育委員会定例会「これからの図書館の在り方検討（報告書）」
を報告
平成 27 年 9 月 1 日 庁内関係部局で課題を洗い出すことを目的とした
これからの図書館の在り方検討プロジェクトチームの発足

2 プロジェクトチーム会議での主な意見

① 図書館の基本サービスについて

- 図書館の目指す指標として、来館者数や貸出冊数とともに、市民に対し、どれだけ高い満足度を提供できるのかという視点が必要である。
- 図書館職員及びコミュニティセンターや生涯学習センター図書室職員のレファレンススキルを高め、「役に立つ図書館」を目指すことが必要である。

② 郷土資料について

- 関係部局と協働し、市の郷土資料のデータベース化を進め、問い合わせ窓口を一本化するとともに、市立博物館との連携を図る必要がある。
- 学校教育との関連については、郷土資料を図書館のホームページからダウンロードできるようにすると良い。

③ 児童サービスについて

- 図書館やコミセン図書室が、子どもとゆったりと過ごせる「居場所」としての役割を担うことを目指し、読み聞かせの場として定着させる必要がある。
- 図書館に関心のない保護者が子どもを図書館に連れて来ることは考えにくいので、保護者への啓発を一層、図る必要がある。

④ その他

- 高齢化社会に対応した取り組みが必要である。

↑ 上地委員「中学の地域ボランティアが立会いを要して開設している。こまめに自主的なサービスがない場合もある。図書館の役割」

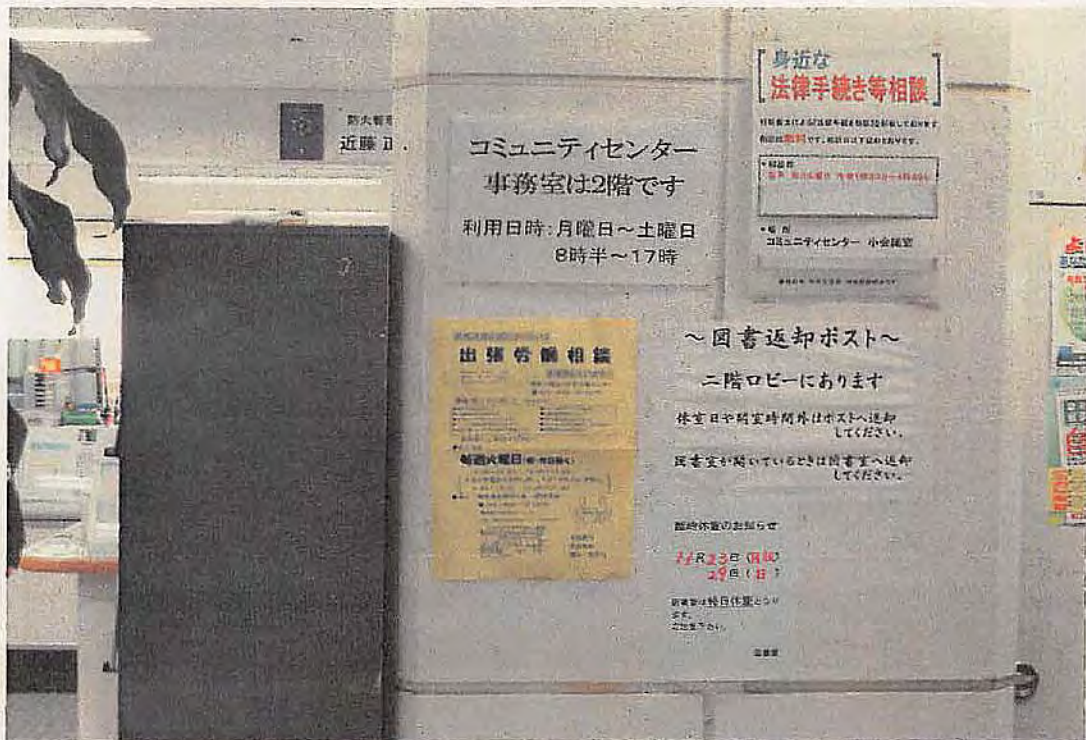
3 プロジェクトチーム会議の流れ

平成 27 年 9 月 1 日 (火)	第一回会議	経過説明、在り方検討（報告書）の説明
10 月 7 日 (水)	第二回会議	P T 進行管理、国の指針の説明、 基本コンセプト 1～2 について
11 月 6 日 (金)	第三回会議	基本コンセプト 3～6 について
11 月 24 日 (火)	第四回会議	図書館の在り方 P T 報告書について ①
12 月 10 日 (木)	第五回会議	図書館の在り方 P T 報告書について ②

※「これからの図書館の在り方検討 P T 報告書」については、社会教育委員会議及び教育委員会定例会で、報告いたします。

図書室サイン（1階）リニューアル

リニューアル前



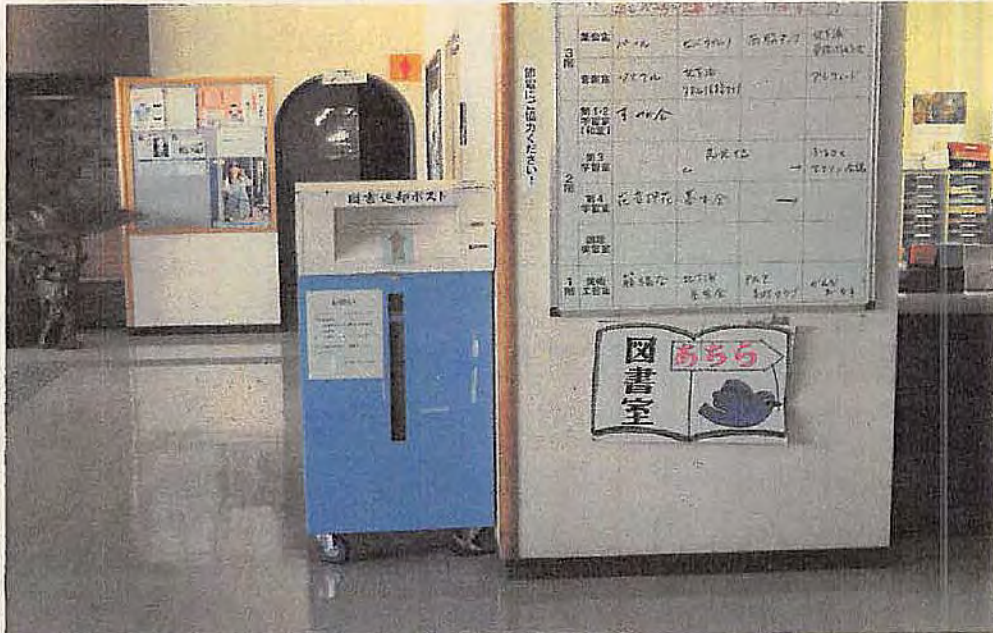
リニューアル後



922 ILV-9-9 中んアサインあり。

図書室サイン（2階事務室）リニューアル

リニューアル前



リニューアル後



図書室サイン（2階廊下）リニューアル

リニューアル前



リニューアル後

